

# 第229回柏崎地域早期景気観測調査 報告書

## < LOBO調査結果 >

### — 平成30年12月期 —

#### 〔調査方法〕

会員企業172社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」(※従業員DIについては今期水準)および「向こう3ヵ月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。

DI値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

#### 〔DI値とは〕

DI値(景況判断指数)とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」-「悪化」

【売上】…「増加」-「減少」

【採算】…「好転」-「悪化」

【資金繰り】…「好転」-「悪化」

【仕入単価】…「下落」-「上昇」

【従業員】…「不足」-「過剰」

【資金借入難易感】…「容易」-「困難」

#### 〔調査対象業種〕

建設業 総合工事業、設備工事業、職別工事業  
 製造業 鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業  
 卸売業 建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業  
 小売業 飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業  
 サービス業 宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

#### 〔調査対象数・回答状況〕

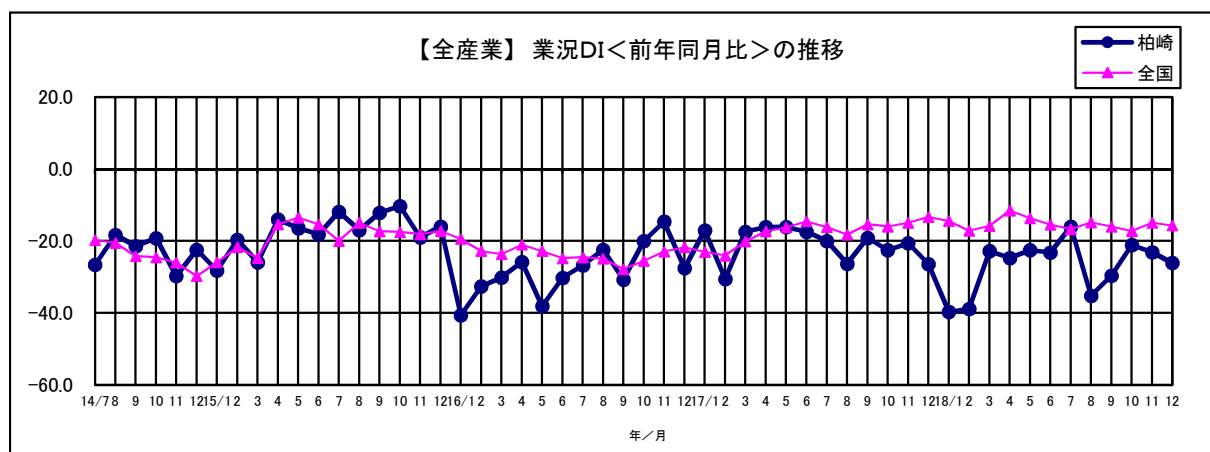
業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	39	46	25	27	35	172
回答数	31	33	15	15	26	120
回答率(%)	79.5%	71.7%	60.0%	55.6%	74.3%	69.8%



柏崎商工会議所

◆概況(全産業合計)

項目		18年7月	18年8月	18年9月	18年10月	18年11月	18年12月	先行き見通し 1月~3月
業況	柏崎	▲16.0	▲35.2	▲29.6	▲21.1	▲23.1	▲26.1	▲42.7
	全国	▲16.7	▲14.8	▲16.0	▲17.2	▲14.9	▲15.7	▲15.1
売上	柏崎	▲15.2	▲39.7	▲31.6	▲22.5	▲12.5	▲27.3	▲48.1
	全国	▲11.5	▲9.0	▲12.2	▲13.6	▲5.3	▲7.6	▲11.2
採算	柏崎	▲21.3	▲40.7	▲29.5	▲28.3	▲30.2	▲32.9	▲47.1
	全国	▲16.4	▲14.7	▲17.6	▲17.9	▲13.1	▲14.4	▲15.1
資金繰り	柏崎	▲10.6	▲18.4	▲15.6	▲13.6	▲13.1	▲12.1	▲22.9
	全国	▲9.0	▲9.4	▲10.4	▲9.2	▲10.5	▲8.7	▲9.8
仕入単価	柏崎	▲43.1	▲42.7	▲45.7	▲47.6	▲42.0	▲43.5	▲36.6
	全国	▲43.3	▲43.0	▲41.9	▲41.9	▲42.0	▲39.6	▲35.2
従業員	柏崎	24.4	21.1	23.0	29.0	29.3	27.0	24.8
	全国							26.1
資金借入難易感	柏崎	1.5	5.9	4.2	8.8	2.2	1.0	▲0.3

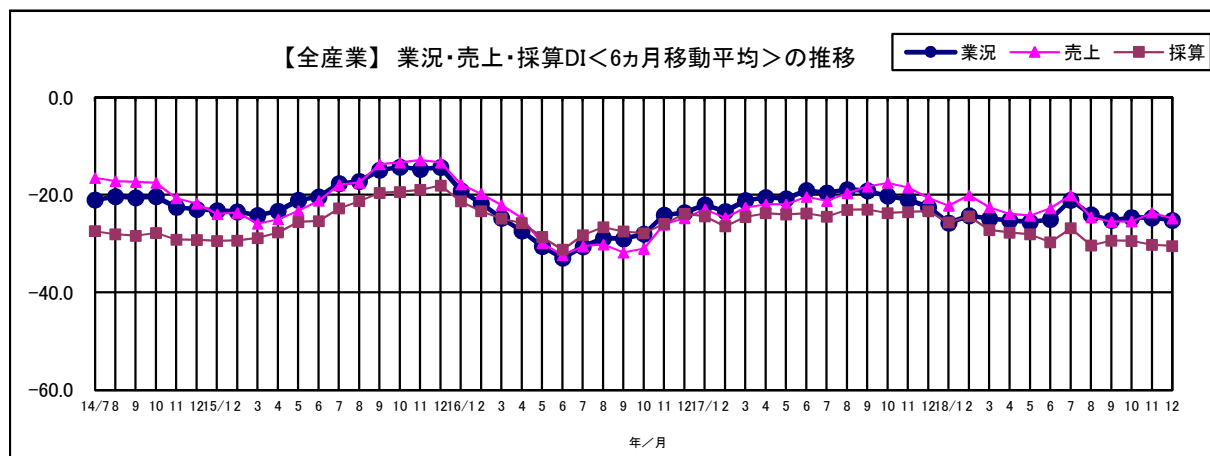


柏崎地域全体の業況DI値(前年同月比)は▲26.1となり、前月と比べてほぼ横ばいの数値となった。小売業で「好転」と回答した企業が微増した。しかし、改善も「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。  
業種別に業況DI値をみると、小売業以外は悪化した。

<移動平均分析(全産業)>

時系列データでみた場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがあります。移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

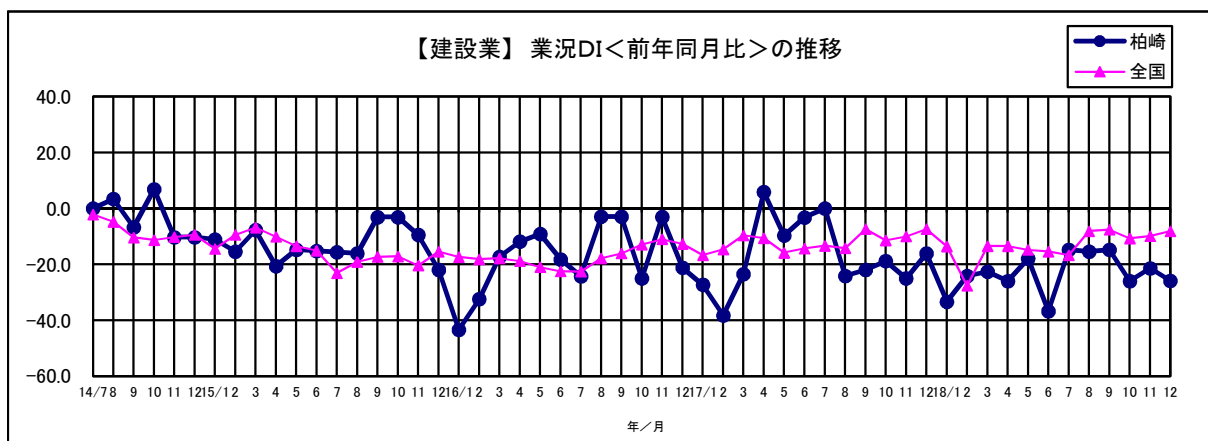
ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヵ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



◆産業別調査結果

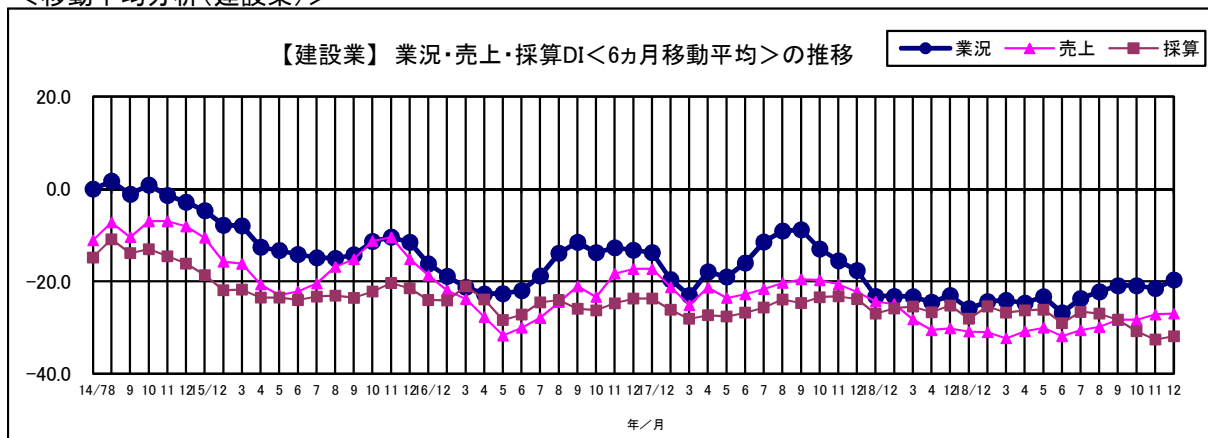
【建設業】

項目		18年7月	18年8月	18年9月	18年10月	18年11月	18年12月	先行き見通し 1月～3月
業況	柏崎	▲ 14.8	▲ 15.4	▲ 14.8	▲ 25.9	▲ 21.4	▲ 25.8	▲ 29.0
	全国	▲ 11.5	▲ 8.1	▲ 7.6	▲ 10.7	▲ 9.9	▲ 8.1	▲ 5.2
売上	柏崎	▲ 22.2	▲ 26.9	▲ 29.6	▲ 29.6	▲ 17.9	▲ 35.5	▲ 48.4
	全国	▲ 9.8	▲ 10.2	▲ 6.9	▲ 10.4	▲ 5.9	▲ 3.6	▲ 1.0
採算	柏崎	▲ 22.2	▲ 23.1	▲ 37.0	▲ 40.7	▲ 35.7	▲ 32.3	▲ 41.9
	全国	▲ 17.1	▲ 13.7	▲ 13.2	▲ 11.9	▲ 13.2	▲ 7.8	▲ 6.8
資金繰り	柏崎	▲ 11.1	▲ 11.5	▲ 18.5	▲ 22.2	▲ 28.6	▲ 12.9	▲ 32.3
	全国	▲ 6.6	▲ 5.6	▲ 4.3	▲ 5.3	▲ 3.0	▲ 5.5	▲ 4.5
仕入単価	柏崎	▲ 44.4	▲ 42.3	▲ 29.6	▲ 33.3	▲ 42.9	▲ 35.5	▲ 38.7
	全国	▲ 45.5	▲ 42.5	▲ 39.5	▲ 43.4	▲ 47.4	▲ 47.2	▲ 44.0
従業員	柏崎	37.0	42.3	37.0	51.9	46.4	35.5	29.0
	全国							37.5
資金借入難易感	柏崎	0.0	3.8	3.7	▲ 7.4	0.0	0.0	▲ 3.2



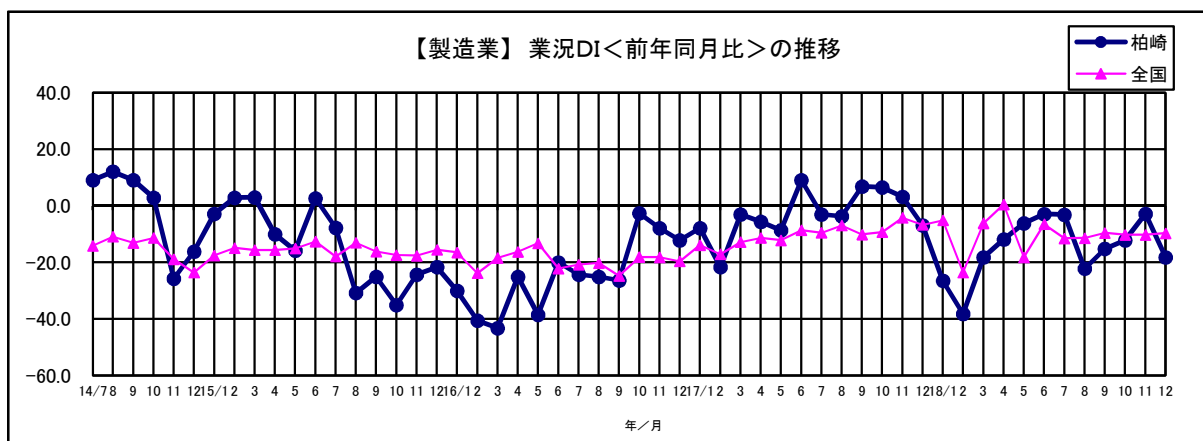
業況DI値は▲25.8となり、前月より若干悪化。ただ、実体はほぼ横ばい。  
内容別にみると、特に職別工事業で、業況・売上・採算とも悪化し、厳しさが見受けられた。依然「人手不足感」は他業種と比べても強い。

<移動平均分析(建設業)>



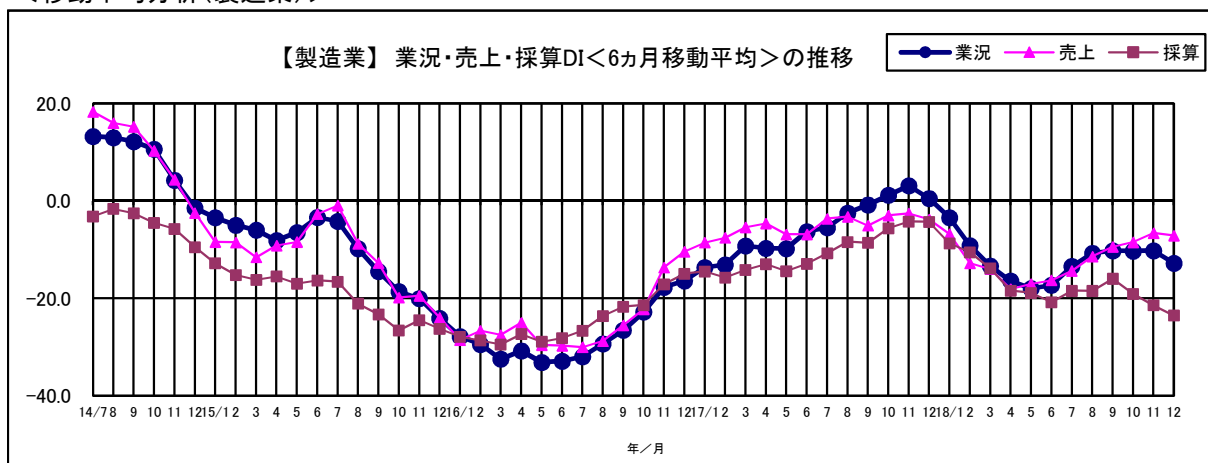
【製造業】

項目		18年7月	18年8月	18年9月	18年10月	18年11月	18年12月	先行き見通し 1月～3月
業況	柏崎	▲ 3.1	▲ 22.2	▲ 15.2	▲ 12.1	▲ 2.8	▲ 18.2	▲ 33.3
	全国	▲ 11.5	▲ 11.4	▲ 9.6	▲ 10.2	▲ 10.2	▲ 9.7	▲ 11.4
売上	柏崎	0.0	▲ 29.6	▲ 9.1	▲ 9.1	13.9	▲ 9.1	▲ 27.3
	全国	▲ 2.6	▲ 2.9	▲ 2.1	▲ 6.6	5.3	4.7	▲ 5.0
採算	柏崎	▲ 12.5	▲ 29.6	▲ 15.2	▲ 36.4	▲ 16.7	▲ 27.3	▲ 36.4
	全国	▲ 13.0	▲ 10.6	▲ 13.0	▲ 15.7	▲ 7.9	▲ 8.0	▲ 12.5
資金繰り	柏崎	▲ 6.3	▲ 7.4	▲ 12.1	▲ 12.1	▲ 2.8	0.0	▲ 9.1
	全国	▲ 7.0	▲ 7.7	▲ 9.8	▲ 8.7	▲ 7.7	▲ 5.8	▲ 8.2
仕入単価	柏崎	▲ 43.8	▲ 37.0	▲ 42.4	▲ 63.6	▲ 52.8	▲ 51.5	▲ 39.4
	全国	▲ 50.4	▲ 48.0	▲ 49.0	▲ 47.6	▲ 46.4	▲ 47.0	▲ 41.8
従業員	柏崎	15.6	22.2	12.1	12.1	22.2	18.2	18.2
	全国							21.3
資金借入難易感	柏崎	12.5	7.4	6.1	18.2	8.3	15.2	12.1



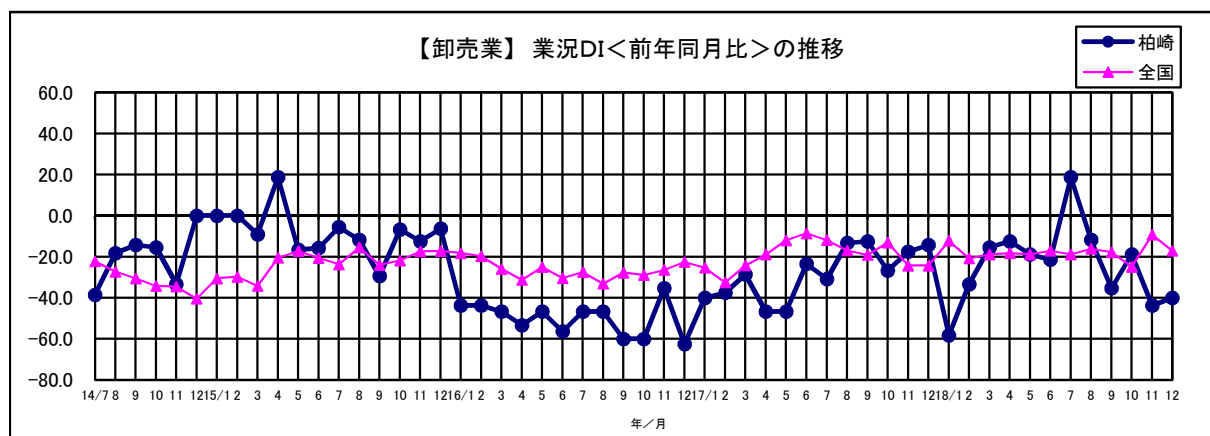
業況DI値は▲18.2となり15.4ポイント悪化した。過去6ヵ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化した<移動平均分析グラフ>をみても、業況・売上・採算のトレンドは悪化傾向である。

<移動平均分析(製造業)>



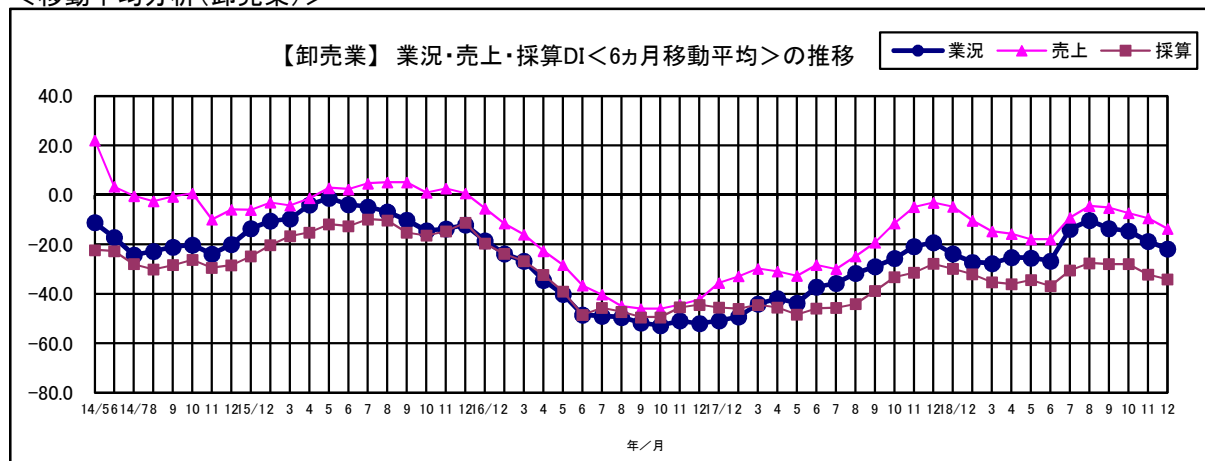
【卸売業】

項目		18年7月	18年8月	18年9月	18年10月	18年11月	18年12月	先行き見通し 1月～3月
業況	柏崎	18.8	▲ 11.8	▲ 35.3	▲ 18.8	▲ 43.8	▲ 40.0	▲ 60.0
	全国	▲ 18.8	▲ 16.1	▲ 17.8	▲ 24.9	▲ 9.3	▲ 17.1	▲ 19.0
売上	柏崎	18.8	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 18.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 66.7
	全国	▲ 12.0	▲ 4.1	▲ 10.3	▲ 13.8	6.3	▲ 10.0	▲ 8.6
採算	柏崎	▲ 12.5	▲ 35.3	▲ 41.2	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 60.0
	全国	▲ 14.4	▲ 8.8	▲ 13.1	▲ 14.2	▲ 1.0	▲ 10.0	▲ 11.9
資金繰り	柏崎	▲ 6.3	▲ 5.9	▲ 11.8	0.0	▲ 6.3	▲ 6.7	▲ 20.0
	全国	▲ 3.8	▲ 6.5	▲ 8.9	▲ 1.8	▲ 4.9	▲ 2.4	▲ 7.6
仕入単価	柏崎	▲ 56.3	▲ 41.2	▲ 52.9	▲ 50.0	▲ 18.8	▲ 20.0	▲ 20.0
	全国	▲ 39.4	▲ 41.9	▲ 46.9	▲ 44.9	▲ 41.5	▲ 35.7	▲ 31.4
従業員	柏崎	7.1	31.3	23.5	18.8	12.5	6.7	20.0
	全国							18.1
資金借入難易感	柏崎	6.3	0.0	5.9	6.3	0.0	6.7	6.7



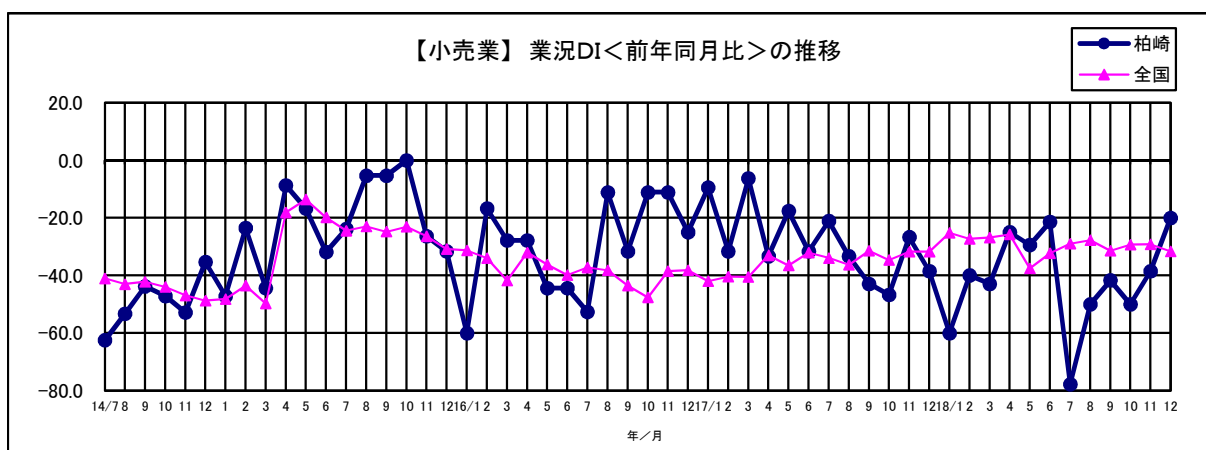
業況DI値は▲40.0、前月期とほぼ同数となり、前月に引き続き厳しい業況となった。特に食品・衣類卸売業で▲80となっている。他業種と比べて人手不足感は少ない。

<移動平均分析(卸売業)>



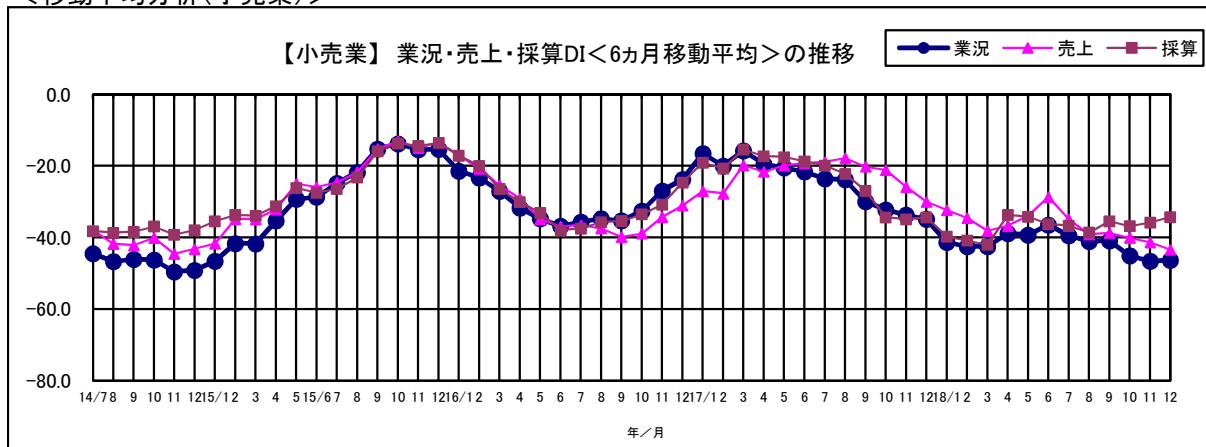
【小売業】

項目		18年7月	18年8月	18年9月	18年10月	18年11月	18年12月	先行き見通し 1月～3月
業況	柏崎	▲ 77.8	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 20.0	▲ 46.7
	全国	▲ 29.0	▲ 27.7	▲ 31.4	▲ 29.3	▲ 29.2	▲ 31.6	▲ 30.1
売上	柏崎	▲ 77.8	▲ 58.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 26.7	▲ 40.0
	全国	▲ 24.4	▲ 23.2	▲ 30.4	▲ 25.4	▲ 22.8	▲ 26.6	▲ 30.4
採算	柏崎	▲ 55.6	▲ 58.3	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 26.7	▲ 40.0
	全国	▲ 24.4	▲ 21.7	▲ 27.9	▲ 27.7	▲ 23.6	▲ 26.6	▲ 26.1
資金繰り	柏崎	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 23.1	▲ 26.7	▲ 26.7
	全国	▲ 14.8	▲ 16.2	▲ 19.6	▲ 17.3	▲ 17.4	▲ 17.5	▲ 18.0
仕入単価	柏崎	▲ 33.3	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 38.5	▲ 66.7	▲ 60.0
	全国	▲ 38.4	▲ 37.4	▲ 34.7	▲ 36.1	▲ 34.9	▲ 30.9	▲ 28.4
従業員	柏崎	▲ 33.3	▲ 25.0	8.3	▲ 8.3	23.1	13.3	13.3
	全国							21.8
資金借入難易感	柏崎	▲ 11.1	0.0	▲ 8.3	8.3	0.0	▲ 13.3	▲ 13.3



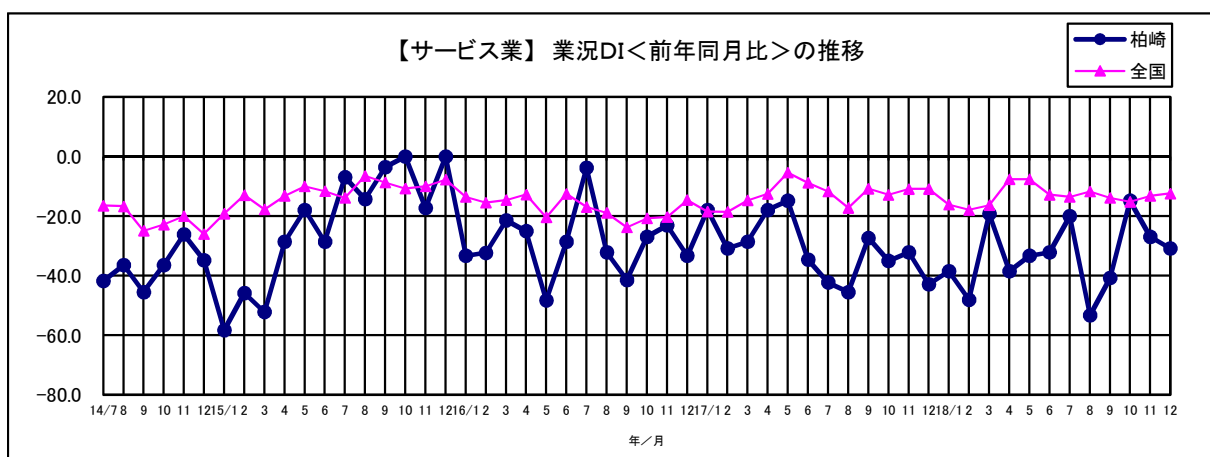
業況DI値は▲20.0となり、前月より18.5ポイント好転した。食品以外の小売業で、「不変」から「好転」と回答する企業が見られた。しかし、下記の移動平均分析のトレンドをみると、決して業況好転はしていないのがわかる。

<移動平均分析(小売業)>



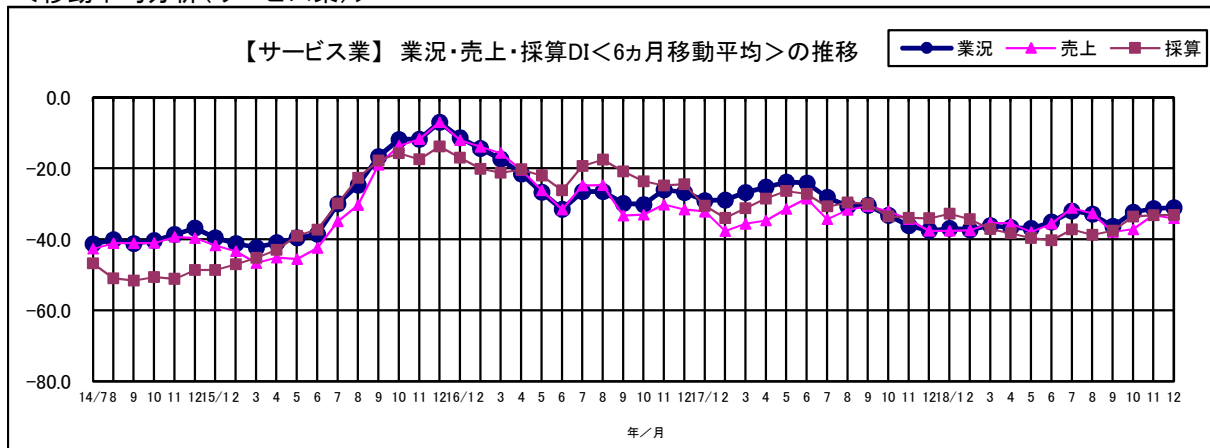
【サービス業】

項目		18年7月	18年8月	18年9月	18年10月	18年11月	18年12月	先行き見通し 1月～3月
業況	柏崎	▲ 20.0	▲ 53.3	▲ 40.7	▲ 14.8	▲ 26.9	▲ 30.8	▲ 50.0
	全国	▲ 13.6	▲ 11.7	▲ 13.9	▲ 15.2	▲ 13.2	▲ 12.4	▲ 10.9
売上	柏崎	▲ 16.0	▲ 53.3	▲ 55.6	▲ 25.9	▲ 19.2	▲ 34.6	▲ 61.5
	全国	▲ 10.4	▲ 5.1	▲ 11.0	▲ 13.0	▲ 5.9	▲ 5.4	▲ 9.0
採算	柏崎	▲ 20.0	▲ 50.0	▲ 37.0	▲ 18.5	▲ 34.6	▲ 38.5	▲ 57.7
	全国	▲ 13.4	▲ 16.4	▲ 18.3	▲ 17.7	▲ 14.9	▲ 17.0	▲ 15.2
資金繰り	柏崎	▲ 8.0	▲ 23.3	▲ 11.1	▲ 7.4	▲ 11.5	▲ 15.4	▲ 26.9
	全国	▲ 10.0	▲ 9.4	▲ 7.9	▲ 9.1	▲ 7.8	▲ 9.2	▲ 9.0
仕入単価	柏崎	▲ 40.0	▲ 46.7	▲ 51.9	▲ 44.4	▲ 42.3	▲ 38.5	▲ 26.9
	全国	▲ 40.7	▲ 43.4	▲ 40.1	▲ 38.7	▲ 40.1	▲ 36.5	▲ 30.5
従業員	柏崎	40.0	26.7	29.6	48.1	34.6	42.3	34.6
	全国							30.5
資金借入難易感	柏崎	▲ 4.0	10.0	7.4	11.1	0.0	▲ 3.8	▲ 3.8



業況DI値は▲30.8となり前月と比べると若干悪化傾向となったが、「好転」から「不変」への移動で、実体はほぼ横ばい。「悪化」の回答企業が多い。従業員DI値をみると、人手不足感は依然強い。

<移動平均分析(サービス業)>



## ●12月期調査に寄せられたコメント(自社の動向、経営上の課題など)

### <製造業>

- ・ほぼ全ての製紙メーカーで、紙の値が上昇(1/1出荷分から)。まだ上がってはいないが、紙を材料としたものは、全て影響が出てくると思う。(機械金属以外の製造業)
- ・仕入価格の変動がまだある。ユーザーとの価格交渉は都度行っていない。リピート品の利益が出にくくなる困った状況である。受注量に少し不安が出てきた感あり。(機械金属製造業)

### <卸売業>

- ・高齢化が進み、若手が不足している。派遣作業も高止まりで、人手不足と採算悪化。お客様は単価を上げることに非常に厳しい。大企業はベースアップやボーナスが出ているが、中小企業は厳しい。(建材・鉱物・機械卸売業)
- ・20日以降の市場の荷動きは、昨年より悪く推移した。(食料品卸売業)

### <小売業>

- ・12月売上は好調。ギフトは特に良かった。年末は高単価商品の動きも良かった。(飲食良品小売業)
- ・全体としては、対比売上は103%、利益は102%であった。年末商戦は年々厳しい状況となり、個数、単価も下がってきている。県外向け商品(PB事業部)は、売上、利益とも昨対比200%前後で堅調に推移している。本年は新しいブランドも立ち上げ、既存のマーケット外も対象に販売強化して行きたいと考えている。(一般小売業)

### <サービス業>

- ・利用客が前年同月より減っている。ここ3~4年で10%減った。常連の利用客は前年とほぼ同数であるが、市外からの行楽客の利用が減っているようだ。売上もリンクして苦戦した。(一般サービス業)

---

## 【参考】全国から寄せられたコメント

### <建設業>

- ・ホテル建設などの民間工事が堅調なほか、公共工事も底堅く、売上は改善した。冬の賞与を増額し、従業員のモチベーションアップを図る。(管工事業)
- ・技術者のほか、交通誘導員の人手不足も深刻なことに加え、需給ひっ迫を背景に、生コンクリートなどの資材の確保にも難航している。このままでは、工期の延長は避けられない。(一般工事業)

### <製造業>

- ・アジア向けなど、輸出は堅調に推移しており、売上は改善。しかし、鉄鋼などの原材料価格の高止まりが足かせとなっているほか、米中の貿易戦争や中国経済の減速など、先行きの不安要素は多い。(自動車部品製造業)
- ・年初より半導体製造装置の受注が多く、空前の活況となっていたが、中国向けの需要が鈍化し、高水準ながらも一服感が出てきた。(半導体製造装置等製造業)

### <卸売業>

- ・例年より気温が高い日が続いたことで、コート類の引き合いが鈍く、売上は悪化した。業績が低迷する中、ベースアップ等を行う余力はなく、今年度は賃上げを見送らざるを得ない。(衣料品卸売業)
- ・原油価格が下落したことで、採算改善となったほか、堅調な民間工事を背景に、建設業からの受注が増加し、売上も改善した。(化成品・金属製品卸売業)

### <小売業>

- ・大企業のボーナス支給額が過去最高になったとの報道を受け、今冬のボーナス商戦に期待していたが、いま一つ盛り上がり欠け、消費者の節約志向を強く感じている。(各種商品小売業)
- ・インバウンド需要が好調で、化粧品や装飾品を中心に売上改善となった。さらなる需要の取り込みに向け、2月の春節を見据えた様々な対応策を検討している。(百貨店)

### <サービス業>

- ・国内外問わず観光需要が好調なほか、忘年会の予約数も多く、売上改善となった。1月の新年会の予約も増えており、今後も売上増が見込まれる。(飲食業)
- ・人手不足が最大の経営課題であり、応募自体が少ないことに加え、ようやく採用できたとしても、長続きしない。賃上げや労働環境の改善など、人手不足の解消に向けて、あらゆる手を尽くさねばならない。(ビルメンテナンス業)